

リサイズ VOL.22



イラスト さかいみる

福岡県在住。
2015年8月にLINEスタンプ
「メチャくと仲間たち」リリース!
ホームページ <http://milart.info>
ブログ <http://milart.info/blog>

カレンダー

1月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

株式会社長崎材木店 リフォーム事業部

NAGASAKI TIMBER CORP.

福岡県古賀市天神5-10-5

☎ 0120-30-0354

TEL 092-944-3003 FAX 092-943-6208

<http://www.howsetop.com>

- | | |
|-------------------|-----------|
| 支店 | 事業部 |
| ◎本社総合展示場 | ◎注文住宅事業部 |
| ◎福岡西展示場 | ◎ログハウス事業部 |
| ◎福岡南展示場 | ◎リフォーム事業部 |
| ◎(株)長崎材木店リアルエステート | ◎不動産事業部 |
| ◎ランドシップカフェ | ◎ガーデン事業部 |

第24回 リフォームデザインコンテスト2016 受賞報告

ジェルコリフォームデザインコンテスト2016に於いて、応募した2作品がそれぞれコンテスト最高位となる、全国最優秀賞(全国大会)、最優秀賞(九州支部大会)を受賞致しました!

設計を担当した建築士八川が、お施主様と話し合いを重ね、十分にご要望をおうかがいした上で、豊かで柔軟な想像力・経験、そして緻密な計算によって引かれた図面をアドバイザー・職人・工事管理など、その現場に関わる全てのスタッフが気持ちをひとつにして造りあげた結果です。

お客様からお預かりした大切なお住いが、この様に名誉ある賞に輝いた事は、当社にとって大変誇りであり、今後“より一層高いレベルのリフォーム・リノベーションでお客様にご満足をお届けしたい”というモチベーションへと繋がっています。



ジェルコリフォーム デザインコンテスト 2016年 **全国最優秀賞** ~上下階のバリアフリー~ 【F様邸】



奥様が楽しみながら配置したもの



詳細は、webで公開中です。ぜひご覧ください! 【case 39】

ジェルコ受賞式の様子

昨年11月、東京でジェルコリフォームデザインコンテスト2016の表彰式が行われました。

当社からも専務、設計を担当した八川、アドバイザーの吉田の3名が出席しました。全国最優秀賞を頂いた八川は、表彰の他にプレゼンテーションも行い、心地良い緊張感を味わったようです。

また、全国から集まった工務店・設計士の方々に大いに感性を刺激されて帰って来たようです。パワーUPした八川に今後もお期待ください!



九州支部大会の詳細報告は、次号にて! お楽しみに!



ARIZONA 白木の スタッフ紹介

メンテナンス事業部ハンディマン ～江崎 健太さん編～

日々奮闘し続けるスタッフの方を紹介する「スタッフ紹介」コーナーです。

今回はハンディマンの江崎さんに密着しました！



今回も
とこしん密着させて
いただきます。

ARIZONA 白木

広告会社勤務。冬の寒い日でもジャケットの中は半袖シャツで日々奮闘中。目先の目標は体重10kg減量!! 今度こそ! 今度こそは必ず実現します!!

江崎さんのある一日



7:40

今回は、福岡工業高校建築学科を経て、近畿大学理工学部を卒業したハンディマン歴5年の江崎さんに密着。



今日はどこまでもついて来るんですよ(笑)

出勤後、すぐにパソコンで本日の行動の確認です。



やはりここまで来ますか(笑)

毎日行われている朝礼の後、少しの間、他のスタッフと談笑です。



9:00~9:15

古賀市にて“土をコンクリートに変えたい”というご要望を頂き現地調査。



9:40

場所を福岡市東区に移動し、換気口カバーの取り付けとお風呂のドアの修理です。



キレイに仕上がりました!

まずは換気口カバーの取り付けが終了しました。



戸当たりが長過ぎます...

次はお風呂のドアの戸当たり(ドアの当たり止め)がうまく機能していないので、その不具合を解消します。



既製品で短い戸当たりがないので、短く作り直します。



短くした戸当たりの取り付け作業です。



お客様も非常に喜んでおられました。



11:30

クラフトマンの大森さん

床下にあったクラフトマンの北阪さん

担当営業の新谷さん

ホツとする間もなく次の現場に移動すると、他の部署の方も作業中でした。



取り急ぎ、まずは現場の状況をチェックします。



床下のチェックが必要と判断し、もぐります。



これぞまさしく『縁の下』の仕事です。



ホークスキャンプで内川選手に抱っこされるはるくん(1才)

これが2児の子煩悩パパの背中!! 同じ父親として誇りに思います!

チェック後、床下に配線を引っ張ります。



住まいの困り事はハンディマンへ! 江崎さんの他にも良い人ばかりなので、ご遠慮なくご相談ください。

本物のアンティークだけが映し出せる 温もりあふれる光と影のグラデーション

リノベーション
Renovation
Works

長崎材木店 リフォーム事業部

福
津
市
在
住
W
さん
の
住
まい



外観はほとんど前の家のまま。どっしりとした古い造りをそのまま活かした佇まいが美しい。ガラス窓からは土間玄関が見える

先人の思いが刻まれた
築65年の古民家を
リノベーション

存在感のある天井の小屋梁。真っ直ぐに長い窓辺の丸太。すっきり鉛色になった梁や柱をじっくりと見ると、昔の職人たちの手描きの文字が残ったままだ。古いのに、惚れ惚れするような立派な木組みの家

は、Wさんが幼少期を過ごした場所。昭和26年頃、祖父の代に、親戚の大工が初めて棟梁を務めた時に建てたもので、梁に使う杉は山からとってきたと聞いています。

以前は福岡市内に住んでいたWさん一家。子どもの高校卒業を機に、Wさんの実家に戻ることになった。両親は離れに任せて、たまの法事にしか使わない母屋は空き家状態。奥さまは「寒いし暗いし、こんな場所には住めな」と思っていた」と言うが、Wさんは先人の残した小屋組を見て、生まれ育った家の再生を決意。古民家のリノベーション実績も豊富な地元の工務店、「長崎材木店」をパートナーに選んだ。

Wさんは「昔のものを活かす」を重視。天井は吹抜けにして梁を見せ、子どもの頃のかすかな記憶にある「玄関の土間」の復活を要望した。一方、奥さまが求めたのは「住み心地の良さ」。床や壁には自然素材を使うこと。そして、暗かった居室は、建具や襖を取り払い、陽射しを取り込めるようリクエストした。



リビングの壁はゼオライト塗、床はナラの無垢材を使用。見えない部分で構造を補強して耐震性も高めている



- 無垢材、珪藻土など自然素材を使う
- 玄関にあった土間を復活させたい
- 古い梁や柱をできるだけ活かす
- 明るく温かく開放的な空間に
- 薪ストーブがほしい



家の奥に眠っていた古い引き出しは、ご主人がテレビボードとチェストにリメイク。リビングの雰囲気にしっくり馴染む



1階は開放感あふれるLDK。一方、2階はご主人の書斎兼フリースペースと2人の息子の子ども部屋で隠れ家風の雰囲気



【ガレージ】

幼少期の記憶にある土間を、ご主人たつての願いで復活。バイクいじりや日曜大工、友人を招いてビールを飲むなど、「男の趣味の時間」を楽しむための空間に生まれ変わらせた



子ども部屋は構造上の制約があり、ベッドスペースとデスクスペースでスキップフロア状の設計に。セルフカスタマイズできるようにラフなデザインとしている



壁を塗ったりフックを取り付けたり、子ども部屋は各々が自由にアレンジ



デザイン力と施工技術で古い材を最大限に活かす

Wさん夫妻に要望をヒアリングした建築士・八川さんは設計をスタート。「古い材には人間の手ではつづることができない古い味わいがある。もとの素材をどれくらい活かすことができるか、ガリノベーションの醍醐味」と、まずは太い梁や柱をそのまま残して古民家の風情を保ちつつ、見えない部分で構造を補強。ガラスはペアガラスに交換して断熱性も高めるなど、住まいの安心・安全を確保。さらに寝室、洗面、キッチン、リビングを回遊できる間取りにして、家事動線にも

配慮。寒い冬も暖かく過ごせるよう、奥さまたつての希望の新ストーブも取り入れた。こうして、昔の名残をとどめながら、今のWさんファミリーのライフスタイルにしっかりと馴染む住まいが完成した。

「明るくなった昼間のリビングもいいですが、夜の照明に照らされた落ち着いた雰囲気も好き。ソファに座って梁を見上げて、ゆったりとした気持ちで過ごせます」と奥さまが言えば、「通勤時間は長くなった

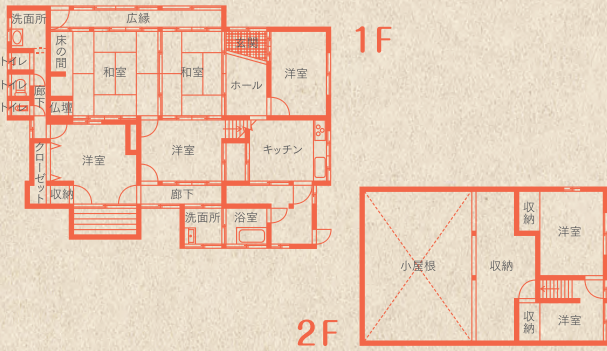


土間の奥には大きなシューズクロークを設けて家族用玄関に

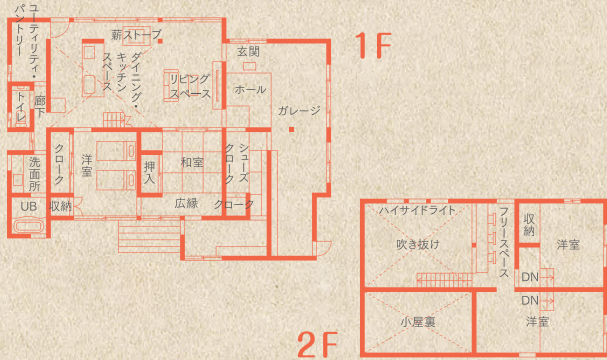


アンティーク風のキッチンとカップボードは行きつけの雑貨店でオーダーメイド

before



after



昔の家の名残をとどめた土間のある玄関。リビングとの境にある小窓は新や荷物を運び入れる際に使っている

株式会社 長崎材木店
リフォーム事業部
一級建築士

八川 一郎さん

「古い家は先人の生活が感じられるほど壊せなくなるものです。Wさんのお宅はアンティークの家にしか出せない空気感を大切にしたいと、光を活かす設計をしました。明るいところと暗いところの光の濃淡が美しく見えるよう、天井の高いところと低いところをつくり、立体的な変化をつけることを心がけました。」



担当アドバイザー
吉田のコメント

規模の大きなリノベーションとなった為、3ヶ月程しっかりと工期を頂きました。リビングに溶け込んでいるTVボードは、以前からこの家に残っていたタンスをご主人様がDIYアレンジしたもの。2階に設けた子供部屋も、最後の仕上げは息子さん達がそれぞれ手を加えて自分の空間へ！古いモノと新しいモノの融合、そこに、「住まい人」の個性がプラスされた最高のお住まいになったと自負しています。W様、これからも末永くどうぞよろしくお願いいたします。

けれど、今までに味わったことのない『家に帰ってくる楽しさ』を感じています」とご主人。新しいけれど懐かしい。アンティーク風々には醸し出せない、本物のアンティークだけがもつ温もりと安心感が、この家には確かにある。

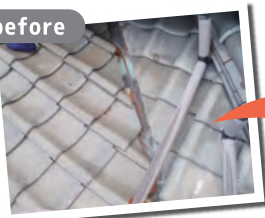


雨漏れ補修

《ハンディマン 古山》

お客様より「雨漏りしているみたい」とのご相談を受けました。現場の確認に伺うと1階台所天井に雨漏りの痕跡があり、屋根に上がってみると雨漏り部分の谷板金が腐食していました。新しいステンレス板金に取替えて、瓦止め等の処置を行い、無事に補修工事を完了する事ができました。

before



after

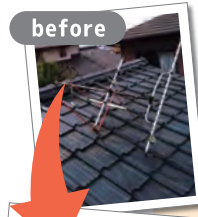


アンテナ取替工事

《ハンディマン 江崎》

「アンテナが倒れているので取替えた。」とのご依頼をいただきました。アンテナは、常に雨風にさらされた状態です。どうしても、時間が経つと根元が痛んできます。基本的には支線で支えられてはいますが、倒れる前に早めのお取替えをオススメします。日常の「どこに相談したら良いかわからない事」は、私たちハンディマンにお気軽にご相談ください。

before



after



どんなことでもお気軽にお問い合わせください!

◎ハンディマン事業部

TEL.0120-30-0537

OB様限定

ハンディマン 割引チケット

障子張り替え1枚無料券

有効期限 / 2017年1月9日(月)~3月19日(日) ※譲渡無効 ※大サイズまで

ハンディマンの 新サービス

網戸・障子・襖をお客様が直接弊社に持込・引取されると

特別料金(4割引)になります。 ※詳しくはお問い合わせください!

編集後記 実る!

新年あけましておめでとうございます。長崎です。

本年は酉年の2017年。酉年にはどんな意味が隠されているかと云いますと「実る」という意味が隠されているそうです。

私達に於きましては、創業120周年の大きな実りの年となります。木材業から始まり木を基軸としてさまざまな事業が実りつつあります。注文住宅事業部、リフォーム事業部、メンテナンスの「ハンディマン」、ログハウス事業部である「BESS福岡西南」、ガーデン&雑貨を展開する「エスティナ福岡」、家具のコレクトショップ「Nコレクション」、薪ストーブを取扱う「焚火屋」、不動産管理賃貸の「リアルエステート」、更には昨年未より木造戸建てアパートに特化した「casita事業」と住むという事業に関しては、ほぼすべての事業が網羅されることとなります。

ということで、最近「住む」という表現も窮屈になり、「暮らし」というワードを使うようになってまいりました。薪ストーブ、グリーン&ガーデン、雑貨、ログハウスなど「暮らし」というカテゴリの中で、私がやりたい物を取扱っているとでも言った方がいいのかもしれませんが。なんと云いましょうか、セレクトショップの様な物です。セレクトショップというのはオーナーの哲学、選美眼にかかった物を取扱うお店なのですが、

お庭にしろお家にしろ、私達が取扱う商品は、ある哲学とポリシーに基づいて展開しています。それは以下の様な物となります。

心地よくなければならない。楽しくなくてはいけない。格好良くなくてはいけない。きれいでないといけない。美しくなければいけない。洒落ていないといけない。自然でなければいけない。華美であってはならない。ピカピカ光ってはならない。古美るものでなければいけない。無骨であっても、優しくなければならぬ。

一言で表すならば beautiful!

ちなみに、我々の事業体にはそれぞれの目的と意義があるのですが、グループミッションは何か。我々がどんな組織であるべきかということ突き詰めていけば、やはり、beautiful!

これを訳すと「素敵な、素晴らしい」。素敵な暮らしの提案をする企業体と言った方がすっきりいくのかな?ということで、「素敵な暮らしの提案」。

これが私達のグループミッションであります。

本年もいい年であります様に!



代表取締役 長崎 秀人